

いばこみ

茨城地区会コミュニケーション

平成 29 年 12 月発行

第 17 号

国臨協関信支部茨城地区会

発行責任者 永井 信浩 (茨城東)

編 集 後藤 智彦 (茨城東)

塩月 絵梨 (霞ヶ浦)

第 45 回国臨協関信支部学会

地区会ポスター第 3 位 おめでとうございます！



事務局だより

後藤 智彦 茨城東病院

茨城県地区会にて今年度事務局を預かることになりました茨城東病院 後藤智彦です。

朝、車のフロントガラスも真っ白に霜が張り、めっきり寒くなってまいりました。今年の10月は、大型台風は来るは、最高気温が更新するなど、異常気象に見舞われました。収穫物にとってはダメージとなり長雨や日照時間の影響が気になりますが、秋と言えば「実りの秋」「食欲の秋」!! 茨城県には美味しい秋の味覚がいっぱいあるので、今年もさらに体重が増えそうで心配です。

今年度も「いばコミ」は地区会の皆様が参加され、霞ヶ浦医療センターの皆様を中心に作成頂き、第45回国臨協関信支部学会平成29年9月2日（土）開催の地区会コーナーでは、水戸医療センターの皆様には、賞を頂く立派なポスター作成にご尽力いただき、11月25日のボウリング大会（文化活動）・親睦会（忘年会）では、茨城東病院の皆様のご協力があり無事に会務を遂行が出来ました。

茨城地区会は、「いばコミ」を通じ会員相互のコミュニケーションツールとして利用し、会員一人一人が深い絆を作り上げています。例年施設間の情報交換や共同作業を通じお互いの施設が協力し歴史ある地区会活動が展開されています。

今後も、役員一同が会員の皆様と共に協力し合い茨城県地区会を盛り上げてまいりたいと思いますので宜しくお願い致します。

平成29年度国臨協関信支部 茨城地区会役員

会 長	永井 信浩	(茨城東)
副会長	国仲 伸男	(霞ヶ浦)
副会長	吉川 英一	(水 戸)
事務局長	後藤 智彦	(茨城東)
理 事	大塚 美咲	(水 戸)
理 事	中村 晃太	(茨城東)
理 事	塩月 絵梨	(霞ヶ浦)
精度管理委員	千葉 雅裕	(霞ヶ浦)
精度管理委員	加藤 稔	(茨城東)
精度管理委員	谷岡 健作	(水 戸)
会計監査	松本 善信	(霞ヶ浦)
会計監査	梶原 弘道	(水 戸)
役員推薦委員	萩原 淳	(水 戸)



新入会員紹介

霞ヶ浦医療センター 国仲 伸男



4月1日付けで横浜医療センターから異動してまいりました国仲伸男と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

茨城への転勤は始めてだったので単身赴任の道を選びました。久しぶりの一人暮らしで当初はバタバタしていましたが、仕事も私生活もだいぶ落ち着いてきました。住めば都とは良く言ったもので、土浦もなかなか住みやすい場所です。自宅には犬が2匹（フレンチブルドッグ）がいるので、犬のいない生活は少し寂しいですが、週末帰った時には散歩したり一緒に寝たりして癒されています。

趣味は沖縄出身ということもあって、エイサー（沖縄の伝統的な舞）や三線（サンシン）＝三味線などをちょこちょこやっています。

あと、なかなか身に付かない英会話ですかね。2016年8月に開催された第32回世界医学検査学会（神戸）で「発表するぞ！」と決めた2015年春から、英会話学校に通っています。ディスカッションに備えようと勉強したのですが、単語や基礎文法がスッ

が抜けているのでなかなか上達しません。しかし、英語使うことで学会に限らず街中でもコミュニケーションが取れるようになると、“英語ができると世界が広がる”といった実感を味わうことができます。今年の夏にはセブ島へ1週間の超短期留学（正確には5日間）に挑戦しました。1週間はあっという間で、ぜんぜんダメダメでしたがとても良い経験になりました。ちゃんと卒業証書もいただきましたよ。もし、茨城地区で英語がご堪能の方がいらっしゃれば是非、上達法のアドバイスを下さい。

霞ヶ浦医療センターへ着任してはや7ヶ月。あっという間でしたが、これからも検査科および病院のため、かつ地域の皆様のために励みつつ、茨城地区会員の皆さんと協力して地区会を盛り上げていければと思っていますので、これからよろしくお願いいたします。

水戸医療センター 吉川 英一



平成29年4月1日付で千葉地区会（国立がん研究センター東病院）から赴任して参りました吉川英一（よしかわえいいち）です。がん東の前は、霞ヶ浦医療センターに11年間勤務していました。霞ヶ浦医療セン

ターに勤務していたときは車通勤でしたが、
がん東には電車（TX）通勤でした。今度、
また車での通勤となりドライブ好きの自分
としてはとても喜んでいきます。自宅から片
道 50km 程の距離で、毎日ドライブ気分で
通勤しており、季節の移り変わりを肌で感
じる事ができ楽しんでいきます。車での通勤
のためか運動する機会が減り、体が丸みを
帯びてきたような気がして、なにやら膝の
痛みが増したような気がします。これから
は、メタボ対策を考えなければと思っています。

水戸医療センターのスタッフは全体的に
若く活気があり、スタッフの皆さんの気遣
いのお陰で直ぐに馴染めたような気がしま
す。水戸勤務も半年がたち病院の雰囲気にも
やっと慣れ、NC と NHO の違いにも少し
ずつではありますが理解出来るようになり
ました。特に病院の会議の開催時間等の違
いには驚きました。水戸医療では、朝の会
議が多く時間が有効に使えるように思いま
す。

最後になりましたが、現在の国立病院機
構の経営状況は厳しく、臨床検査部門にお
いても機器整備等難しい状況ではありますが、
明るい未来がくることを願い、茨城地
区会の皆様と情報の共有を図り、業務改善
や職場環境の改善、人材育成人材等に努め
てまいりたいと思います。毎日が少しでも
楽しく勤められるよう明るい職場環境とな
るよう共に頑張りましょう。今後ともどう
ぞよろしくお願い申し上げます。

水戸医療センター 倉部 裕



茨城地区会の皆さんこんにちは。4月1
日付で国立病院機構相模原病院よりまいり
ました倉部裕(クラブ ユタカ)です。2年前
に水戸から相模原へ転勤になり、今回2年
ぶりに水戸医療センターへ戻ってまいりま
した。久しぶりの水戸は懐かしさもあると
同時にスタッフや検査システムも入れ替わ
っておりフレッシュな感じもしています。
現在は病理部門に配属され、先生、スタッ
フに恵まれた環境で日々働いています。

私は今回の転勤で4施設目になります。
東京出身ですが勤務地は栃木→水戸→相模
原→水戸と多くを地方で過ごしており、人
込みや渋滞が少なくどこかのんびりとした
感じの地方の生活が気に入っています。

趣味は食べ歩きや体を動かすことです。
パン屋やラーメンの食べ歩きが好きで、先
日、福岡・博多の学会に参加した際には2
日で6店舗廻りラーメン三昧の学会でした。
ネットでおいしい店を検索しては休みの日
に足繁く開拓しています。また体を動かす
ほうではスキー、スノーボード、野球、ラン
ニング、登山、など屋外のスポーツを好
んでいます。最近では、ロードバイクを購
入し、霞ヶ浦湖畔やつくばりんりんロード
を走ったりしてサイクリングを楽しんでい

ます。茨城県は魅力度ランキングで毎年最下位ですが、食べ物も美味しく、スポーツも満喫できるところで、私の中での魅力度は最上位です。

2年ぶりの復帰ではありますが、新しい施設に赴任しーから始める気持ちで業務に励みたいと思いますので今後もよろしくお願いたします。

水戸医療センター 根岸 史知



この度、宇都宮病院から水戸医療センターへ異動となりました根岸史知です。出身は、2019年ラグビーワールドカップを行う予定の埼玉県熊谷市です。

私が臨床検査技師になったのは5年前で、最初は高崎総合医療センター非常勤として生化学を1年間、その後、宇都宮病院採用で生化・血液・輸血・一般を3年間やってきました。水戸医療センターでは生化学を担当させて頂いていますが、前の病院に比べて検査項目数も検体量を多く毎日、四苦八苦しながら頑張っています。

趣味は、麻雀・ジブリ鑑賞・ディズニーランドに行くことです。つい最近にもディズニーランドへ一人寂しく行ってきました。なので、今度一緒に行ってくれる方を絶賛

募集中です。興味のある方で特に女性の方は是非お声掛けください。また最近はブームになっているボルダリングにも挑戦しています。検査科の方々と一緒になって始め、当初は体型的にも登ることが困難でしたが、始めて2か月ぐらいの今ではある程度のコースに登れるくらいに上達しました。今は週1回ぐらいのペースで検査科の仲間たちと続けています。

技術も知識もまだまだ至らないことが多く、職場に迷惑をかけてばかりですが、しっかりと仕事ができるように幅広く知識・技術を身につける為の努力を1日1日無駄にしないよう励んでいくつもりです。こんな私ですが、少しでも早く皆さんのお仲間の一員となれるよう日々努力していきますので、よろしくお願いします。

茨城東病院 西野 香織



平成29年4月1日付で茨城東病院に新規採用となりました西野香織（にしのかおり）です。よろしくお願いいたします。

生まれは茨城県ひたちなか市ですが、新潟県で4年間学生生活を送った後、埼玉県の民間病院に就職して4年間過ごしたので8年ぶりに茨城県に戻ってきました。東京

に近い埼玉での生活も魅力的でしたが、やはり生まれ育った土地での生活は安心感があります。ゆったりと時間が流れ、美味しい米や魚があり、人は親切で茨城に戻れた事を嬉しく思います。しかし、地方暮らしでの問題点が一つ。交通の便の都合上、車が必要ですがペーパードライバー歴が長いため運転することを躊躇しており、今秋やっと車を購入しました。運転に悪戦苦闘する毎日です。

前職では、検体検査・輸血検査・生理機能検査・採血業務等あらゆる業務に従事していました。茨城東病院では主に生理機能検査を担当しています。精密肺機能検査や心臓超音波検査等初めて携わる検査が多く、正確かつ信頼性のあるデータを報告する事は難しいと日々痛感しておりますが、専門性が高いのでやりがいを感じています。

早いもので、配属されて8ヵ月が経とうとしています。検査科内外のスタッフに温かく迎え入れられ、支えていただいたおかげで仕事にも慣れることが出来ました。まだまだ勉強不足で至らない点もありますが、他職種のスタッフに信頼される検査技師を目指し生まれ育った茨城県の方達の力になれるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



退職会員の挨拶

霞ヶ浦医療センター 安藤 敏一



2年間、お世話になりました。

早速ではございますが、このたび退職という時期を迎えることになり地区の皆様への挨拶の文面を書いております。今年もおしつまってきた12月になろうかという11月末にどのような挨拶文にしようかと頭を悩ませております。

本来であれば、“在職中はひとかたならぬお世話になり・・・ありがとう・・・”とかいう文章を書かなくてはいけないのかもしれませんが、茨城地区の皆様とはほとんど接点がないままで、このような挨拶を書いていいものやら・・・などと自分にも文面にもピンときていないことに申し訳なさを感じながら書いております。

土浦にある霞ヶ浦医療センターは茨城県、茨城といえはこの1年、横綱稀勢の里、大関高安、NHK朝ドラ“ひよっこ”など話題に事欠かなかった年でもありました。私としては、この2年間特に大きな病気も怪我もなく過ごせました。ただ、モチベーションや集中力を維持するのは大変だったというのが正直な気持ちです。なるべく目立たないようにジッとして時間が過ぎるのを一日一日と・・・過ごしてようやくこの時期を迎えることができました(笑)、よく辞めずに続いたな・・・というのが正直な気持ちです。

退職後は任意継続せず他の道に行くことにしております。地区の多くの皆さんは定年が 65 歳になりそうですね・・・年金は 70 歳から？という報道もちらほらと・・・がんばって下さい。

本来であれば、お伺いしてご挨拶をすべきところではございますが、ままならず、いばこみにて失礼を申し上げます。ありがとうございました。そして、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

コミュニケーション につながる投稿文

霞ヶ浦医療センター 原 正敏

検体・輸血検査を担当している原と申します。今回『コミュニケーションに繋がる投稿文』を題した原稿を書く機会を頂きましたので、頻繁に行く旅行、そのうち最近行ったバリ島旅行について話させてもらいます。

夏休みを利用して楽園のバリ島へ1週間ほど旅してきました。成田国際空港から約7時間のフライトで、時差は1時間と時差ボケを起こさずに行ける素敵な国です。空港の到着口からかなりの歓迎ムードで出迎えてもらいました。その後、バリ島在住の友人たちと合流し、友人宅でインドネシア料理を振る舞って貰いました。*インドネシア料理の代表的な物としてナシゴレン(焼き飯のような)やミーゴレン(焼きそばのような)が知られています。夕食後は宿泊先である海沿いのヴィラに移動しまして、ヴィラの内観の綺麗さと眺望が素晴らしく感動的でした。ヴィラにはプライベートビーチ

があり波の音を聞きながらお酒を飲み、ビーチでワイワイ過ごす日々を過ごしました。サーファーの友人が一緒だったのもありサーフィンを毎朝教えてもらって、波に乗る経験もバリ島で叶えられました。今回の滞在では、アヤナリゾートにあるロックバーや Potato Head Beach Club で食事や買い物をしたり、ビーチ(クタビーチ、ジンバランビーチ、ウルワツサーフビーチ、パンダワビーチ、フィンズビーチ)でサーフィンをしたり、ウルワツ寺院でバリ島伝統のケチャックダンスを見て一緒に踊ったり、バリ島から約40分離れたレンボンガン島へシュノーケリングやマングローブ巡りしたり、住民の方との交流イベントに参加したり非日常的な体験・経験を積むことができ充実した毎日を送れました。

私は海外旅行の魅力をその国の文化に直に肌で触れられたり、住民との交流だと思っています。現地の言語を話せなくても片言の英語とジェスチャーを大きくしたり、ガイドブックを見ながら話したりすると相手に伝わるので楽しいですし面白いです。是非、海外旅行へ行ったことが無い方も行ってみてはいかがでしょうか？



茨城東病院 小林 昌弘

私は北信濃の生まれで山に囲まれた環境で育ってきました。物心ついた時から夏は

野山を駆け回り、冬は靴をスキー板に履き替え（小、中学校とクロスカントリースキー部でした）野山を駆け回っていました。そんな環境で育ったからなのか山を見ると無性に走りたくなります。なので、今年からトレイルランニング（トレラン）を始めました。

トレランとは森や山中、自然公園など未舗装の道を走るスポーツのことを言います。日本のトレイルランナーの実走人口は 20 万人（日本能率協会総合研究所調べ）とされ、今後やってみたいと考えている人は 70 万人になるそうです。近年、急速に人気が増えてきており、一部の雑誌によると市民スポーツとして既に認知されているそうです（…、本当でしょうか？）。

マラソンのトレーニングも兼ねて始めたトレランでしたが、実際にやってみると思った以上に面白く、気が付くと専用の小型リュックからシューズまで揃えて大会に出場していました（北信濃では KTF：北信濃トレイルフリースが主催する大会が 4 月から月に 1 回のペースで開催されています）。私が出場したのはショート（14.8 km）の部でした（トレランの特徴の一つに走る距離が無茶苦茶長い、ということがあります。茨城では筑波連山天空ロード&トレイル大会が有名ですが、ショートが 25 km、ミドルが 48 km、ロングが 70 km になり、AM3:30 からスタート案内を開始し、AM5:00 にスタートします）。

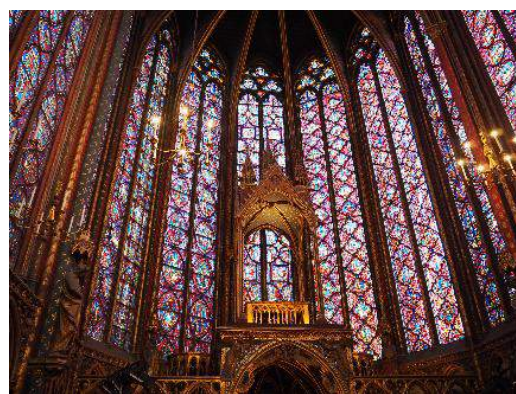
順位は 263 人中 34 位でした（まあまあ上位？）。途中で底なし沼まがいの泥沼にはまり、周りのランナーから白い目で見られ、その後に給水瓶の蓋が壊れ、給水が来なくなるなどのトラブルに遭いましたが、

マラソンとは違った環境で走るのは新鮮で楽しかったです（ただ、足への疲労はかなりのあります。それはそれでトレーニングになるのでいいのですが）。

もし興味のある方がいれば一緒に走ってみませんか？新しい発見があるかもしれません。



水戸医療センター 古賀 菜摘



長期休暇がある時は国内を旅行することが多いのですが、今年は夏季休暇を利用して、家族でフランスに行ってきました。元気なうちに家族全員で一度は海外旅行に行くことが昔からの憧れであり、妹の就職が決まる前の今がチャンスという事で、思い切って家族で初の海外旅行となりました。

出発前、フランスに行きたい気持ちとは

裏腹に不安も多くありました。英語を少し聞き取れる程度の自分と妹。やる気満々だけどほぼ英語が出来ない両親。現地に行ってコミュニケーションを取れるかが心配でした。

ガイドブックにも書かれていましたが、フランスではお店に入る時には必ず店員さんに“ボンジュール”と挨拶をします。そうしないと、店員の態度が明らかに冷たくなります。日本ではお店に入る時、客のこちらから挨拶をしなくても特に違和感はありません。フランスでは“ボンジュール”“メルシー”は本当に気軽に使われていて、日本の“いらっしゃいませ”のようなマニュアル化された形式的な言葉を用いるのではなく、そういった挨拶から始まり目と目を合わせた個人的なコミュニケーションが日常生活の中で大事にされているように思われました。

最初はハプニングも続き不安で帰りたい気持ちでいっぱいでしたが、美味しいものを食べ、現地の言葉で挨拶を交わし、その人達の温かさを受けたりして、段々自分自身が心を開けるようになってきた頃にはちょっと帰りたくなくなっている自分がいて、あっという間に帰国が迫っていました。フランスは本当に見所が沢山あり、フランス語での挨拶と一緒に笑顔、あとはカタコトの英語をどうにか駆使して、限られた時間の中で行きたいところを巡ることが出来ました。また機会があれば新しい土地に赴き、新たな発見ができたらいいなと思います。



編集後記

今年は5名の新会員、1名の退職会員の挨拶を掲載させてもらいました。また、いばコミ（茨城地区会コミュニケーション）から「コミュニケーションにつながる投稿文」のご協力をいただき、関係者の皆さんに感謝しております。今後ともに会員の親睦を深める手助けになればと思います。

日に日に寒くなり、インフルエンザの流行が心配な季節になりました。体調を崩されないよう、なお一層のご自愛のほどお祈り申し上げます。

（記：塩月）

